

令和6年能登半島地震に係る災害関連死の認定について

5月14日に開催した輪島市災害弔慰金等認定審査会の審査結果を踏まえ、下記のとおり令和6年能登半島地震の関連死と認定しました。

記

認定：9件

【認定の内訳】 ※御遺族から承諾をいただいた範囲内で公表しています。

番号	年代	性別	経緯・認定理由
1	90代	女性	避難所で新型コロナウイルス感染症に感染した結果、うっ血性心不全のため死亡。災害と死亡の間に相当因果関係が認められた。
2	80代	女性	近隣のビニールハウスに避難しており、トイレが使用できないため近くの畑へ行き転倒、自力で動けない状態となり、低体温症のため死亡。災害と死亡の間に相当因果関係が認められた。
3	60代	男性	避難所への避難による生活環境の激変により心身に相当の負荷が生じ、専門的な医療を受けることができない状況で基礎疾患が悪化した結果、肝不全のため死亡。災害と死亡の間に相当因果関係が認められた。
4	70代	女性	震災後の避難所生活や水分の補給不足、薬の不足、睡眠不足、運動不足、転居など生活環境の激変により心身に相当の負荷が生じた結果、急性心筋梗塞のため死亡。災害と死亡の間に相当因果関係が認められた。
5	70代	男性	避難所でインフルエンザに感染した結果、両側肺炎のため死亡。災害と死亡の間に相当因果関係が認められた。
6	70代	女性	非公表
7	90代	男性	非公表

その他2件はすべて非公表

(参考) 審査結果：審査件数9件（認定9件）